

# 武豊町地域公共交通会議 第11回 会議 議事録

日時：平成25年3月22日（金）

13:30～15:30

場所：武豊町役場第2・3・4会議室

## 1. 会長あいさつ

○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第11回会議を開催させていただきます。
- ・会議資料の次第に従いまして、はじめに、開会にあたりまして、会長であります、町長の初山からごあいさつさせていただきます。

○初山町長（武豊町長）

- ・ こんにちは。お世話になっております。年度末のご多忙のところご出席いただき、感謝申し上げます。
- ・ 後ほど、新しい4人の委員には、委嘱状をお渡します。
- ・ 本日の報告事項にありますが、利用実績について報告させていただきます。
- ・ 平成22年7月より運行を開始しましたコミュニティバスについては、平成25年の2月末で79,808人の利用がありました。1日あたり85人になります。
- ・ 乗合タクシーについては、平成25年2月末で751人の利用がありました。18ヶ月になりますが、1ヶ月当たり42人、1日1人ちょっとの利用となっています。
- ・ 地域公共交通総合連携計画では、5カ年、平成22年から26年度までの計画で事業を進めています。補助金の関係もありますが、平成25年3月をもって試行運行を終了し、4月から本格運行化に転換していきます。
- ・ 事業費の関係ですが、事業全体として2,000万円ですが、国の補助金等があり町の持ち出しは1,000万円になっています。
- ・ 福祉施策としての意味からも、また、皆さんに親しんでいただけるコミュニティバスになればと思っています。
- ・ 利用促進友の会さんが、愛知県の補助金を受けてベンチを設置いただいています。
- ・ まだまだPRが行き届いていないところもありますが、自動車免許証の返納をしていただいているバスを利用してもらおうようになればと思います。
- ・ 本日の議事としては、報告事項2件、議事4件を予定しています。円滑なご審議にご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2. 新しい委員の委嘱等について

○事務局

- ・ 「新しい委員の委嘱等について」であります。「武豊町地域公共交通会議委員名簿」を

ご覧ください。

- ・ 区長の交代及び関係機関の人事異動に伴い、4人の委員の方に変更がありましたので、ご紹介させていただきます。
- ・ 長尾部長の杉崎様、大足区長の横山様、富貴地区区長会長の朧山様に変わりました。
- ・ また、愛知県半田警察署交通課長の稲垣様が人事異動で交代しております。
- ・ 委嘱状の交付をさせていただきます。
- ・ 委任状の提出者が3人、代理出席が名簿番号の9番、10番、17番の3人です。
- ・ 本日の委員の欠席者は5番、7番、14番の3名の欠席です。規約に定める開会要件を満たしております。
- ・ この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 伊豆原先生、恐れ入りますが、議事のとり進め、よろしくお願いいたします。

### 3. 議事

#### ●報告事項1：地区説明会・利用者アンケート結果について・・・資料1-1～1-2

○伊豆原座長

- ・ それでは議事を進めます。事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ 報告ありがとうございました。ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- ・ お願いですが、地域説明会ですと、ご参加いただいているのは男性が多く、女性は少ない状況です。一方のバスの利用者は女性が多い。できるだけ地域説明会等では、実際に乗られている方、今後乗られる方を中心にお聞きしていただきたい。
- ・ 町全体の話を聞くことも大切だが、地域のこととして地域の意見を確認すると少し意見が変わってくるかもしれない。我々としてはこうした考えでプランをつくっているが、どう思うかという形で聞いてもらいたい。
- ・ 地域説明会の参加者が男性が多いので、事務局には申し訳ないが、女性の参加しやすい時間帯、週末での開催も考えて欲しい。シニアクラブの会合などで行う方法もあるので、今後は注意して対応してほしい。

○横山委員

- ・ 座長と同じ意見です。私も東大高公民館の8月3日に参加した。確かに男性が多かった。定例的に行う憩いのサロン、敬老会などの場を活用したらよいと思います。

○伊豆原座長

- ・ いろいろなチャンスを活用してください。

- ・ 是非、委員の皆様には、地元の会合では、本日の議論について情報交換をしてもらいたいと思います。

●報告事項 2：最近の利用実績について・・・・・・・・・・資料 2-1～2-2

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。ご質問・ご意見はありますか。
- ・ 乗合タクシーは、地域によって利用に差がありました。利用のばらつきは、地域説明会の説明によるものか、待ち合い環境として待機しづらい場所なのか、利用方法が分からないのか、その当たりについて、確認していくことが重要です。
- ・ 使っていない人の意見も大切ですが、使っている人の意見を聞き、どのように知ったのか、新しい意見など確認することも重要だと思います。
- ・ 自分が住んでいるまちでは、現在 1 日 500 人ぐらいの利用がありますが、最初は 1 日 100 人ぐらいでした。毎年 100 人ぐらいずつ増えました。
- ・ 武豊町でもお試し期間を含めて 3 年が経過します。来年、どうなるか楽しみです。住民の皆さんにメッセージを出し続けることが大切です。その努力をお願いしたい。

○鈴木委員

- ・ アンケート調査結果のとおりだと思います。少し回答者数が少ないですが、満足度の結果が高いのは、満足度の高い人が利用されているからだと思います。
- ・ 使わない人の意見もくみ上げることが重要だと思います。
- ・ 上山ルートが使われていると報告がありましたが、回数は多いといっても一人の人が何度も使っています。中身を見ると様子が違うのではないのでしょうか。

○伊豆原座長

- ・ 乗合タクシーについては、爆発的に利用が多くなるものではありません。当初から、定時定路線のサービスを導入できない、利用が少ないところに設定しています。
- ・ 少ないからどうか、量の議論ではありません。
- ・ 地域の人声を聞き、地域の人がどのように捉えているのが重要です。
- ・ 全体として、利用が少しずつ伸びているので、私としては楽しみの持てる状況です。

●第 1 号議案：地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について・・資料 3-1

～ 3-3

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。愛知運輸支局より補足があればお願いします。

○愛知運輸支局

- ・ 幹線として接続しています鉄道駅の利用者数の変化を確認してください。
- ・ 平成 25 年度の実績について、青ルートは増えており、緑ルートは減っています。期間の設定で異なりますので、再確認ください。
- ・ 目標設定は、地域公共交通総合連携計画と合わせていますか。地域公共交通総合連携計画では、対前年比プラスとしています。後で報告がありますが、平成 26 年度の生活交通ネットワーク計画の目標値を減らしているのはなぜですか。

○事務局

- ・ 駅の利用は確認していません。確認します。
- ・ 資料 3-2 の実績については、青ルートでは便当たり 3.8 人が 4.0 人になったということを描かれているかと思えます。資料 2-1 の利用実績の報告で、4 月～3 月の年度では平成 23 年度、24 年度ともに 3.9 人で増加していません。資料 3-2 では、平成 24 年 10 月から 1 月までの 4 ヶ月間の分析なので、異なる傾向となりました。

○伊豆原座長

- ・ 実績値は、期間を付記して整理してください。
- ・ 資料 3-1 の第三者評価の委員として対応していますので、補足したいと思えます。
- ・ 全国統一の書式は資料 3-3 のものです。中部運輸局では、単独の補助路線だけを評価するのではなく、ネットワーク全体として、どのように評価するのか、評価後、改善対応をどうするのかを併せて確認することが重要で、追加的に資料 3-2 の作成を要請しています。全国でも中部運輸局管内だけだと思います。
- ・ また、わかりにくいのは、国の事業年度が 10 月～9 月で、一般的な年度は 4 月～3 月の期間と半年ずれています。そのずれが、指摘としてあったと思えます。
- ・ 「利用者数が低迷している」という表現はよいのか。「利用者を掘り起こすことが課題」といった表現に替えた方がよいと思えます。
- ・ ネットワークとして、駅の状況がどうなっているのかを確認するという指摘は対応ください。
- ・ 住民主導の利用促進策については、利用促進友の会の活動がありますが、その活動を支援する制度の導入がありました。支援の中身について触れて欲しいと思えます。
- ・ 説明で、運輸支局のアドバイスで、C 評価を B 評価に替えることになりました。平成

24年度、25年度ともに、B評価になります。

- ・ みなさんの意見を頂戴して、3月末までに愛知運輸支局に報告することになります。
- ・ 宜しいでしょうか。ご意見もないようなので、採決に移りたいと思います。
- ・ 数字や指摘事項についての修正は、私と事務局にて対応させていただくとして、進めたいが宜しいでしょうか。ご意義ないようなので、賛成の方、挙手をお願いします。
- ・ 全員賛成。承認いただきました。ありがとうございました。

●第2号議案：平成26年度生活交通ネットワーク計画（案）について・・・・資料4

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ご質問・ご意見ありませんか。

○愛知運輸支局

- ・ 1頁の目的・必要性の最後の文章について、資料3-2で具体的な対応方策について報告されていますので、ここでも利用促進策、路線の見直し等、具体的に記入ください。

○事務局

- ・ 了解しました。

○伊豆原座長

- ・ 具体的な表現を追記してください。
- ・ 2頁の事業効果についても、武豊町の特徴的なことである、市民の活動が活発であることなどを記載したらどうかと思います。ネットワーク全体から見て市民活動の効果があることを示したらと思います。
- ・ この資料は、6月末までに国に提出する資料です。この資料を6月の会議の1回だけで協議して終わりでは問題があります。4月は人事異動等もありますので、現在の委員で協議していただき、また、6月の会議で再度協議して、国に報告したいと思いません。今年の10月からの補助金申請用に提出するものです。
- ・ 宜しいでしょうか。これも議決事項です。再度6月にも確認しますが、現時点で賛同いただける方、挙手をお願いします。
- ・ 全員賛成、ありがとうございます。
- ・ 次回、指摘の意見を修正して報告ください。

●第3号議案：平成24年度武豊町地域公共交通会議 第1回補正予算（案）について・・  
資料5-1

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ 減額補正ついて、ご意見・ご質問ありますか。町に予算を返すこととなります。
- ・ 国の補助金が少し増額されたということです。来年度の予算申請は、今年並みと聞いています。
- ・ 宜しいでしょうか。採決させていただきます。賛成の方、挙手をお願いします。
- ・ 全員の賛成、ありがとうございます。

●第4号議案：平成25年度武豊町地域公共交通会議の事業計画（案）について・・資料6  
-1-6-2

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ご質問等ありますか。

○初山委員

- ・ バス事業者に国の補助金が入ると説明がありました。町の持ち出しが約2,000万円の内のどれだけなのか、どのようなお金の流れになっているのか、教えて欲しい。

○事務局

- ・ 来年度の予算なので、おおざっぱな数字ですが、全体の事業費は2,000万円です。その内、国の補助金は700万円を見込んでいます。運賃収入が300万円程度ですので、1,000万円が町からの持ち出しとなります。

○初山委員

- ・ 資料6-2の500万円とは何がちがうのか。

○伊豆原座長

- ・ この 500 万円は運行費ではなく調査費として計上しています。調査は協議会が実施します。調査に対して国から協議会に補助金が入りますのでその予算を計上しています。
- ・ 補助金の制度設計が変更されています。これまでは、運行費の補助金が協議会に入っていました。新しい補助金は、交通事業者に直接支払われます。
- ・ 調査に係る補助金は、新しい制度で協議会に支払われることとなります。協議会としては、先に町から 500 万円の予算を計上してもらい、調査を実施した後、国の補助金が確定し支払われた後、町に補正予算を通してもどす会計処理を行います。
- ・ 調査の実施は7月に予定していますが、交付決定後すぐに対応するという点でよろしいか。

○愛知運輸支局

- ・ 調査補助の交付決定は5月末に出ると思います。

○伊豆原座長

- ・ 利用促進に関する新しいソフト事業はどうするのか。

○事務局

- ・ 国の新しい補助メニューとして、地域協働推進事業費補助金があります。できるだけ、活用する方向で考えます。

○伊豆原座長

- ・ 新しい補助メニューが想定されています。まだ要綱等が報告されていないので、国の動向を確認し、上手に活用してください。
- ・ 意見がなければ、採決に移ります。賛成の方、挙手をお願いします。
- ・ 全員賛成、ありがとうございます。承認されました。

## 4. その他

○伊豆原座長

- ・ 事務局から報告をお願いします。

○事務局

- ・ 武豊町コミュニティバス利用促進友の会について報告させていただきます。利用促進友の会さんの取り組みが高く評価され、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」、会長：愛知県知事が今年度創設しました「エコモビ推進表彰」を、県内 12 件の応募のうち、審査の結果、3 団体、(株)デンソー、大口町、利用促進友の会が受表彰団体として決定され、昨年 11 月 20 日に受表彰されましたのでご報告申し上げます。
- ・ 利用促進友の会さんには住民主導の利用促進活動の更なる拡充を促すための事業を今後行っていただく予定をしております。さらに、25 年度から武豊町地域公共交通課会

議委員の委嘱もお願いしたいと考えております。町としても来年度より「コミュニティバス利用促進委託料」という事業予算を新たに確保し、こうした住民主導の活動をバックアップしていく予定です。

- ・ コミュニティバスの広告事業について報告させていただきます。今年度ですが現在までに3社、広告収入として29万5千円の広告を掲載しております。掲載場所は車両側面及び背面となっております。
- ・ 地域公共交通確保維持改善事業の調査事業についてですが、武豊町全体の地域公共交通総合連計画が平成26年度末に満了しますので、見直し準備のため、住民や利用者アンケート調査を予定しています。国の調査事業の補助を予定しています。
- ・ 産業まつりの無料乗車についての報告です。11月の産業まつりで、コミュニティバスの無料乗車を実施しました。利用者327人、その内110人が子どもの利用でした。130人が、ゆめたろうプラザを利用いただいています。バスの利用促進につながったと考えています。
- ・ 報告は以上です。

#### ○伊豆原座長

- ・ 利用促進施策について、利用者はお年寄りが多い。これからの社会を考えると、利用者を拡大する必要があり、子どもへの利用促進、小学生に乗り方教室などを実施したらどうかと思います。
- ・ 防災教育で有名な群馬大学の片田先生と最近お話ししましたが、片田先生は、これまで8年間ずっと防災教育をしています。10年実施すると子どもが大人になります、良い市民になるから続けるんだと言っていました。
- ・ 突然コミュニティバスの利用者になるわけではありません。利用促進友の会さんの活動に期待することも良いのですが、次の世代に、車、バス、鉄道も乗れる、良い生活をするには賢い使い分けが大切であることを意識していただくために、教育活動の視点も大切と思います。
- ・ 利用促進活動に、こうした視点を加えてもらえると良いと思います。

#### ○柴山委員

- ・ 利用促進友の会さんがエコモビの表彰うけた報告がありました。主催した側として少し補足させていただきます。
- ・ 3団体が表彰されましたが、デンソーさんは従業員のエコ通勤です。大口町は企業から協賛金をもらい連携して事業を実施している事業活動に対して選定されました。
- ・ 利用促進友の会だけが、唯一、住民主体の取組として表彰されています。応募段階では他の住民活動もありましたが、最も充実している活動として表彰させていただきました。この表彰を契機に、さらに活動が活発化してもらえればと思います。

#### ○伊豆原座長

- ・ 是非、励みにしてもらえればと思います。



## 5. 閉会

### ○初山会長

- ・ 全ての議案について、全員賛成にて可決いただきありがとうございました。
- ・ また、アドバイスいただきました、小学生への利用促進活動や憩いのサロン事業での説明など、参考にさせていただきます。
- ・ あらゆる機会でPRしていきたいと思えます。
- ・ 本日は、協議ありがとうございました。

### ○事務局

- ・ 以上で、「武豊町地域公共交通会議」の第 11 回会議を閉会させていただきます。